

平成30年度 船員需給総合調査結果報告書の概要

船員需給総合調査の概要	1
船員の異動状況の推移	2
船員の年齢構成	3
船員の退職理由	5
採用船員の前歴	6
採用船員の入職経路	7

船員需給総合調査

[船員職業安定法]

- 目的：公平かつ有効な就業機会の保障、海上企業に対する労働力の適正な充足
- 事務：海上労働力の需要供給に関する調査報告により、雇用及び失業の状況に関する資料を集め、その結果を公表するとともに、海上労働力の需要供給の調整を図ること。

[平成30年10月] 船員異動状況調査

調査対象：230社（回収率:100%）

- ✓ 外航労務部会 加盟船社
- ✓ 外航盟外船社
- ✓ 内航労務協会 加盟船社
- ✓ 一洋会 加盟船社
- ✓ 全内航 加盟船社
- ✓ 内航盟外船社
- ✓ 日本カーフェリー労務協会加盟船社
- ✓ 遠洋まぐろ漁業者
- ✓ 遠洋トロール漁業者
- ✓ 以西底曳網漁業者

直近1年間の船員の異動状況を調査

（調査期間：平成29年10月1日～30年9月30日）

- ✓ 採用経路状況（入職経路、前歴）
- ✓ 出身学校別採用状況
- ✓ 労働力異動状況（退職状況）



政府統計

統計法に基づく一般統計

海事局調べ （平成30年10月1日現在）

回答者の事業状況を調査

- ✓ 船舶数
- ✓ 船員数
- ✓ 海技免状受有者数
- ✓ 年齢別船員数
- ✓ 経歴別船員数

集計

[令和1年10月] 公表

船員需給総合調査結果



調査結果の活用

船員行政の企画立案

- ✓ 将来船員数の算定
- ✓ 政策評価指標の算定

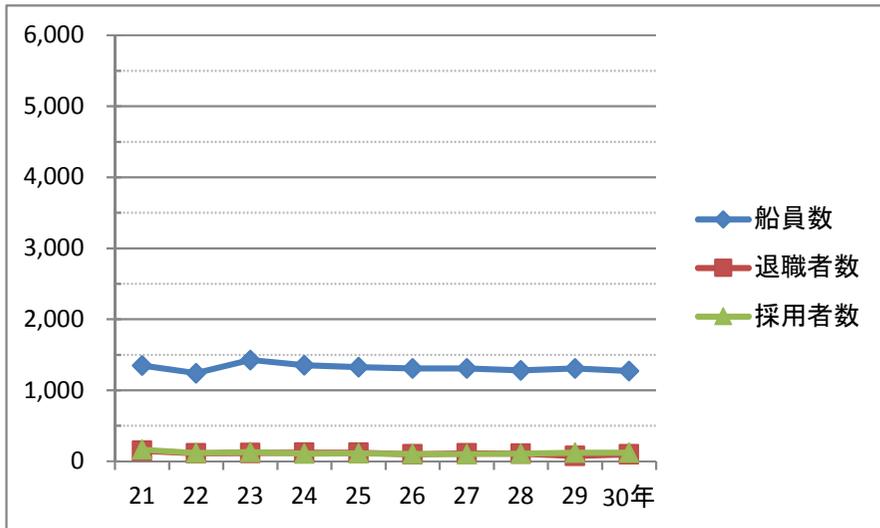
民間機関における活用

- ✓ 船員教育機関
進路指導
- ✓ 大学
調査研究

など

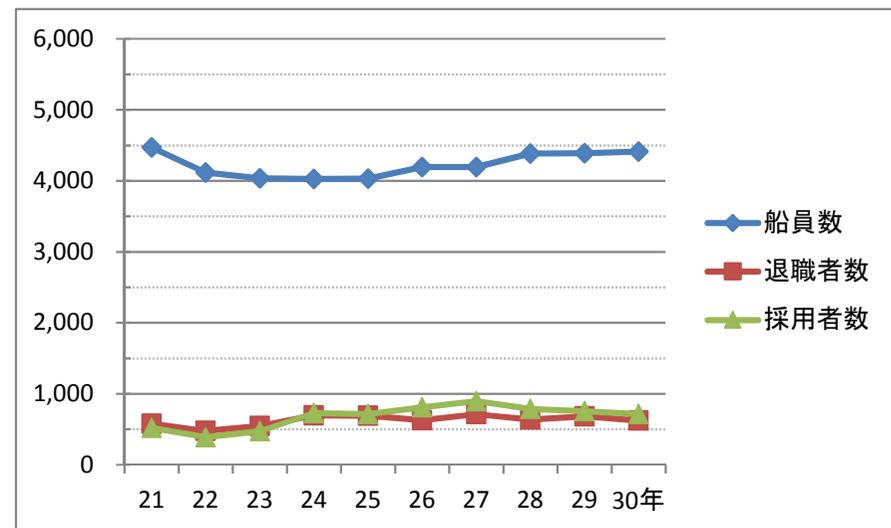
船員の異動状況の推移

(外航)



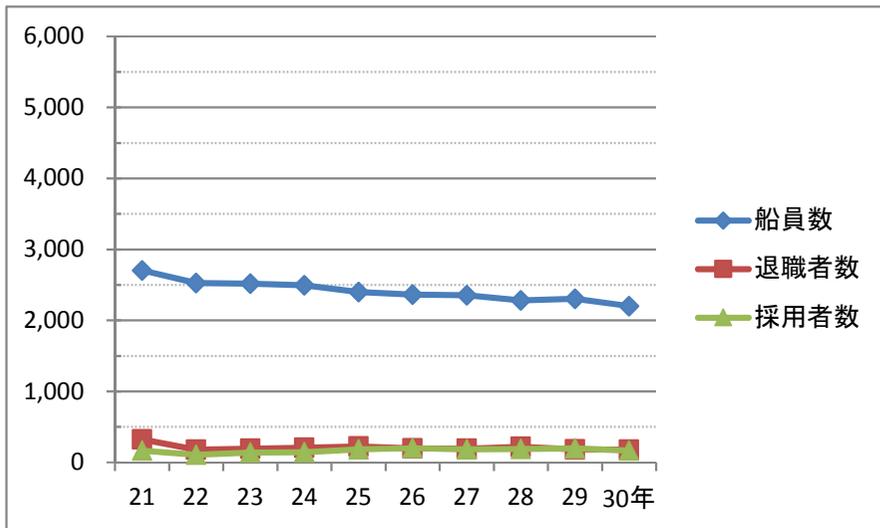
平成30年
船員数
 1,271
退職者数
 98
 8%
採用者数
 121
 10%

(内航)



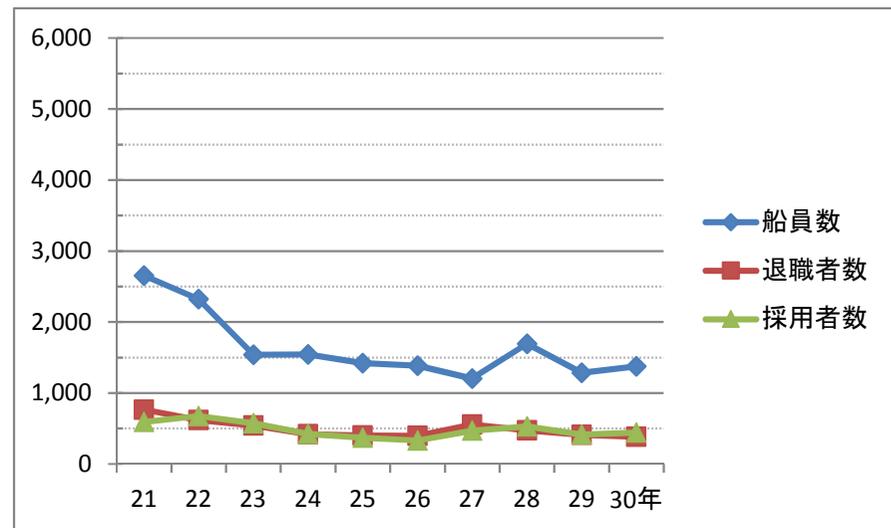
平成30年
船員数
 4,413
退職者数
 624
 14%
採用者数
 712
 16%

(旅客船)



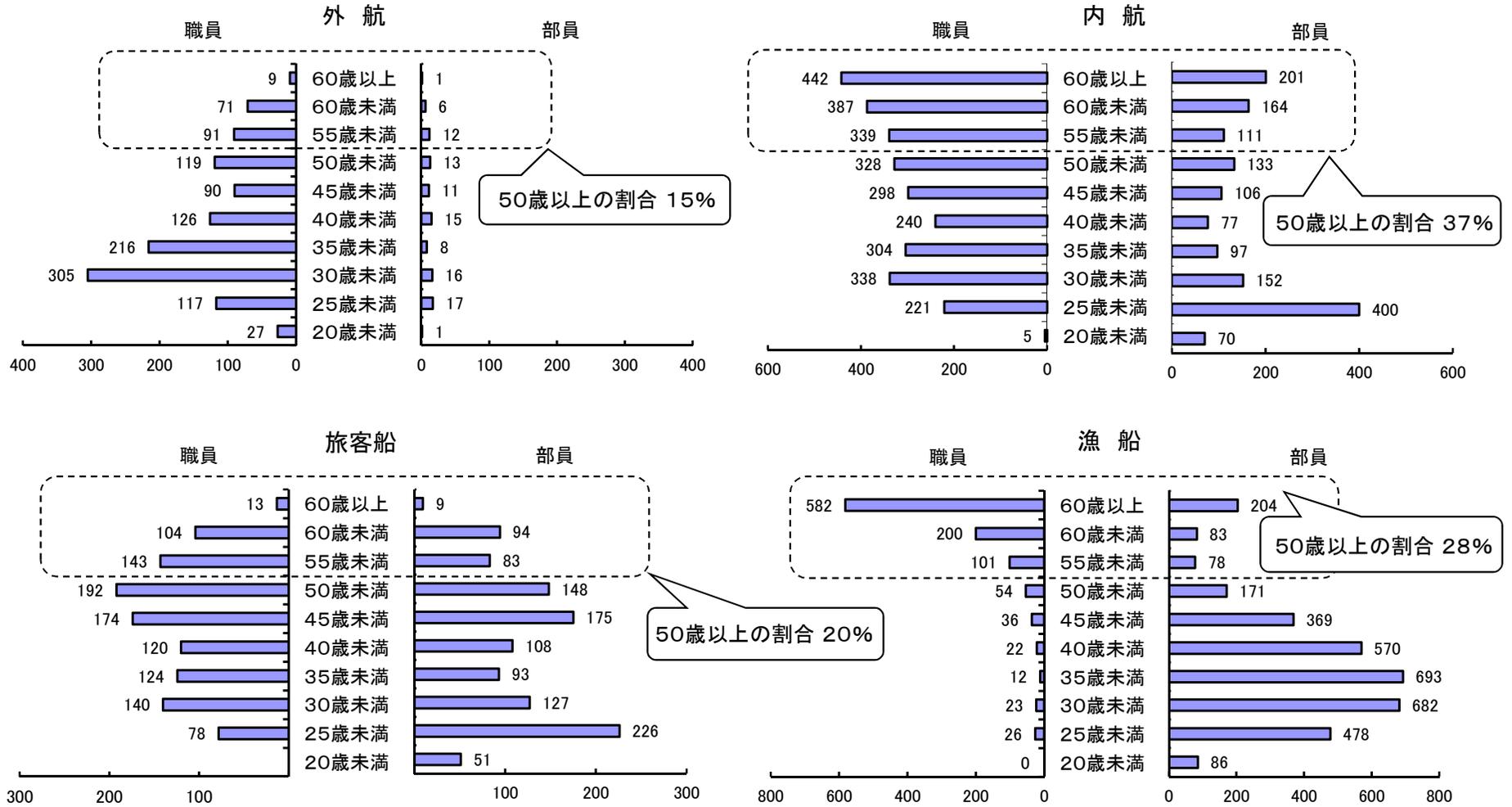
平成30年
船員数
 2,202
退職者数
 178
 8%
採用者数
 165
 7%

(漁船)



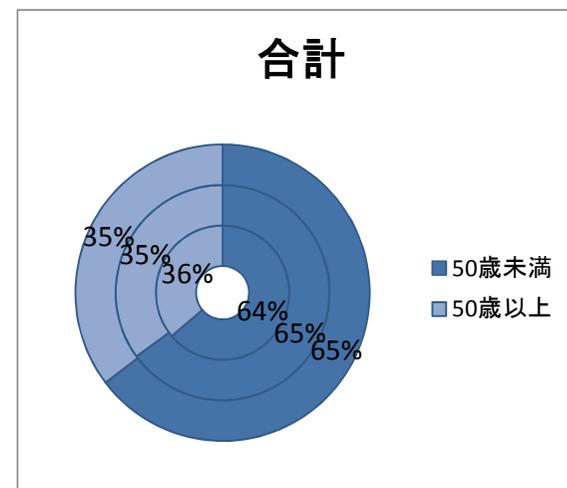
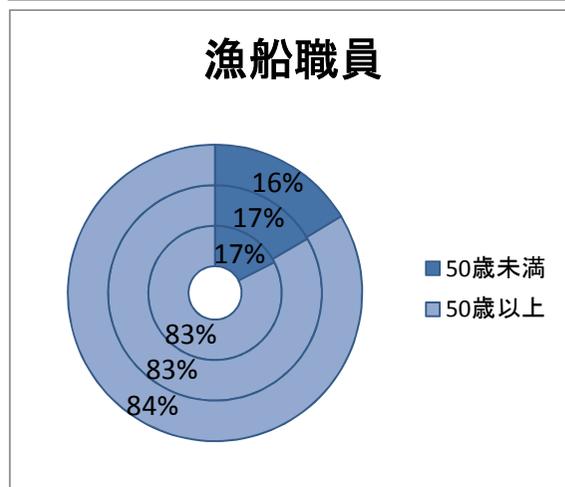
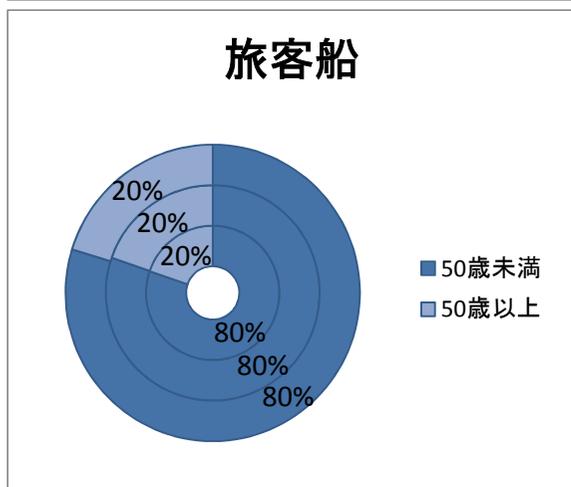
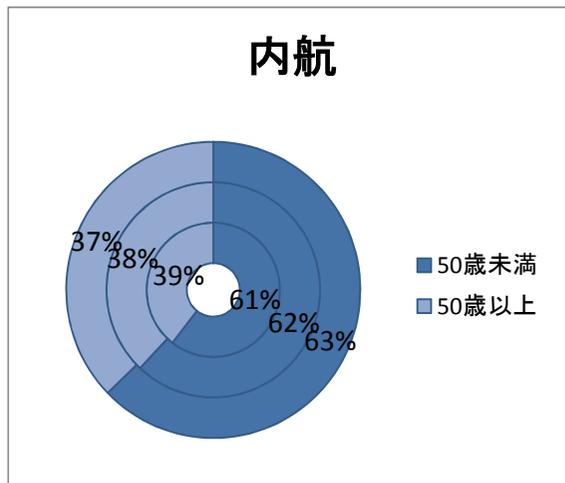
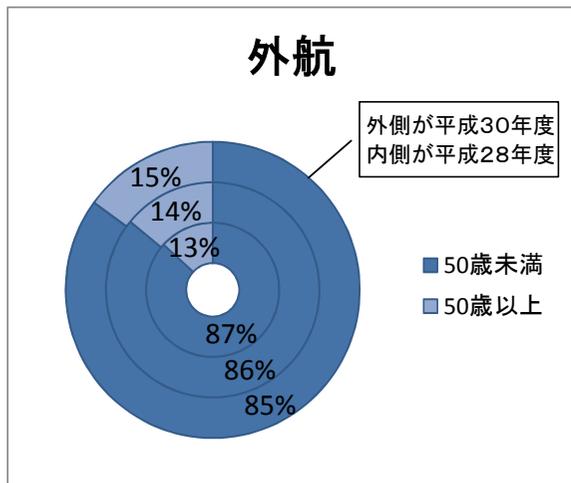
平成30年
船員数
 1,374
退職者数
 383
 28%
採用者数
 444
 32%

船員の年齢別構成(平成30年) (50歳区切り)



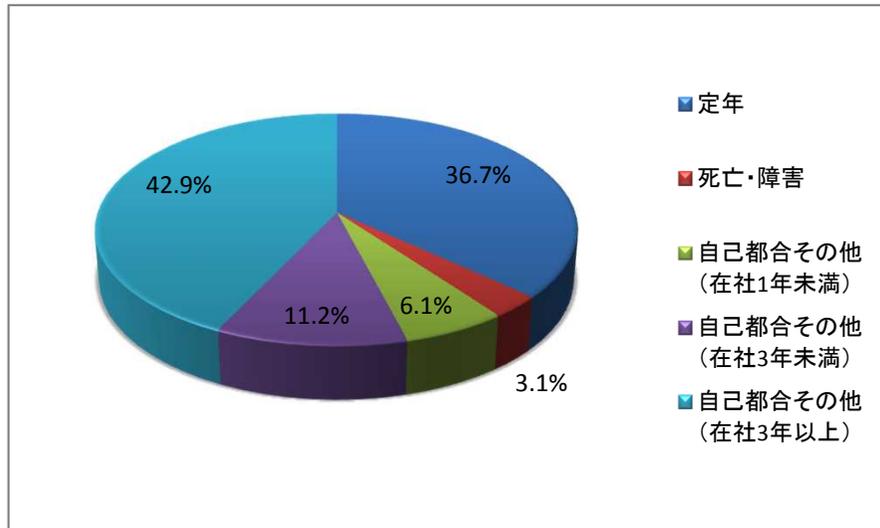
船員の年齢構成比較（50歳区切り）

(注) 円グラフの内側から順に平成28年度、平成29年度、外側が平成30年度の比率を示す。

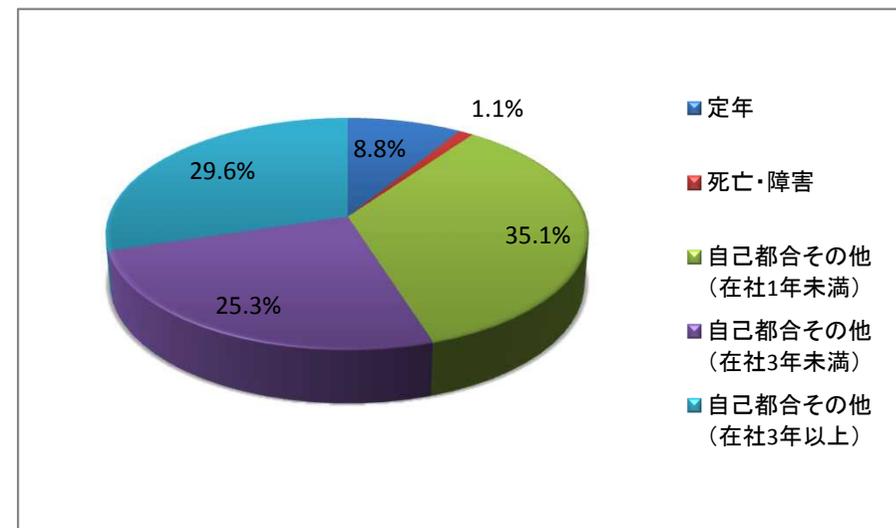


船員の退職理由(平成30年)

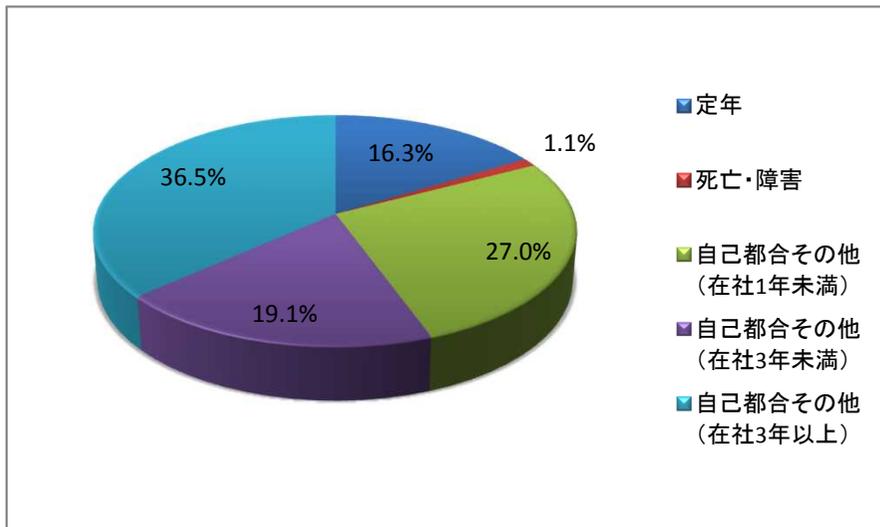
(外航)



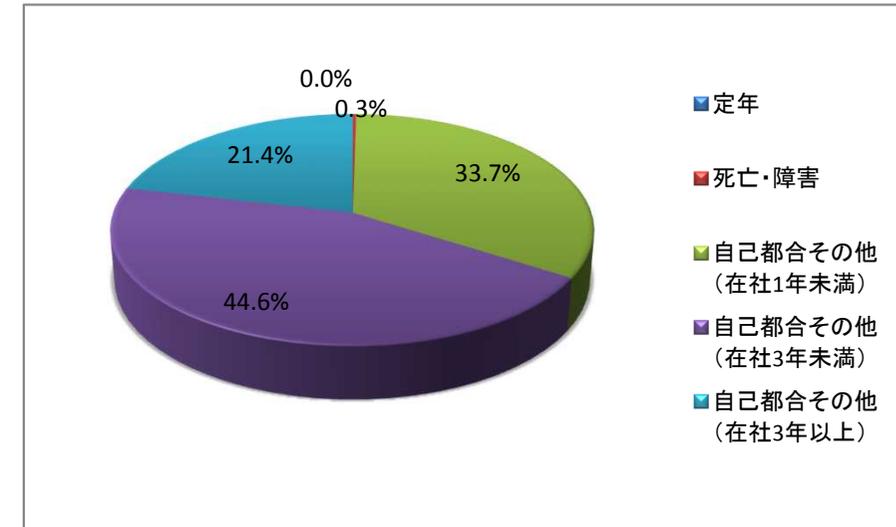
(内航)



(旅客船)

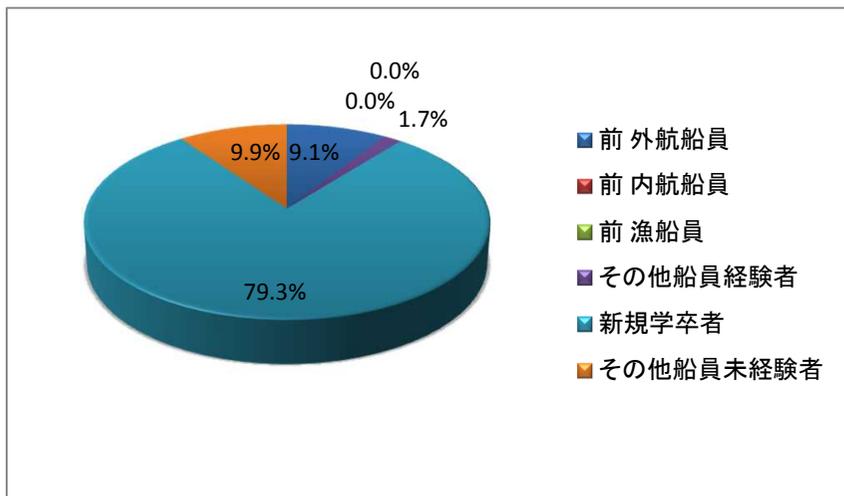


(漁船)

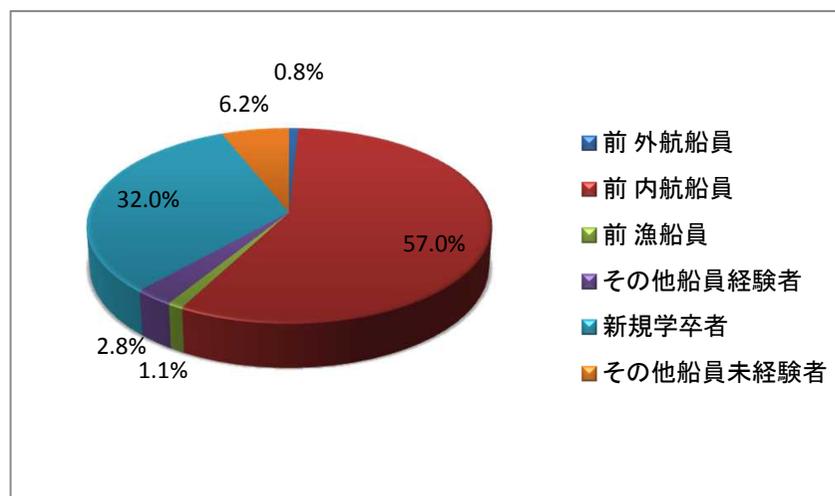


採用船員の前歴(平成30年)

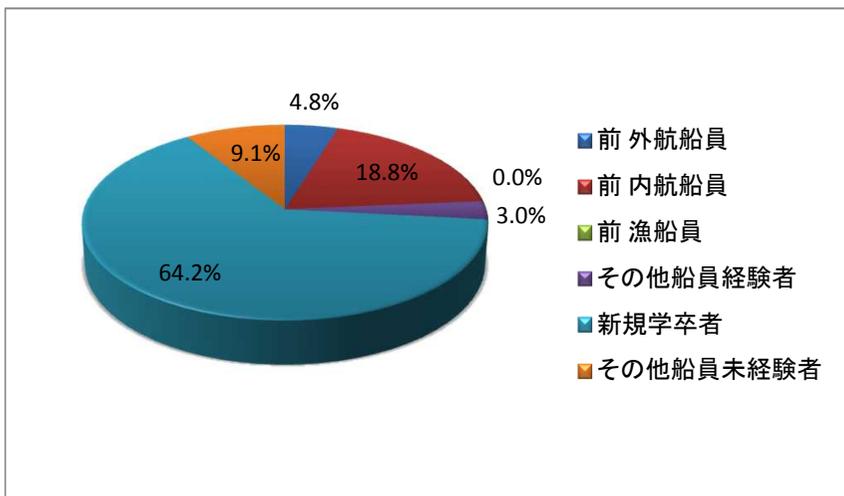
(外航)



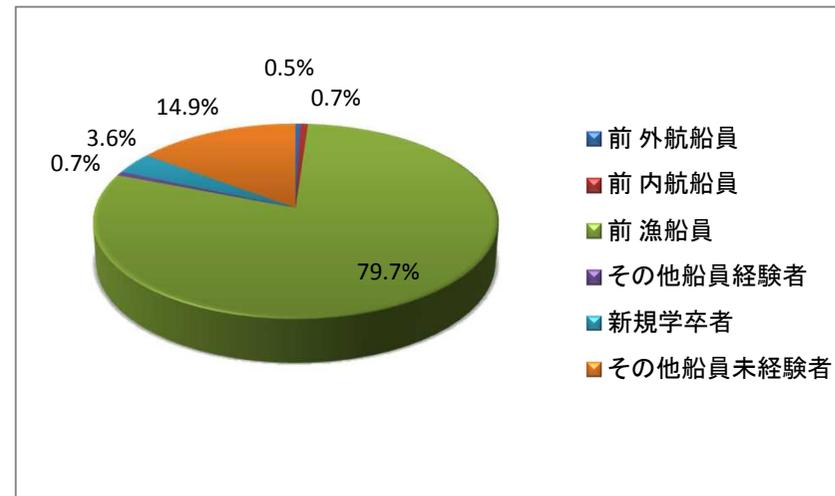
(内航)



(旅客船)

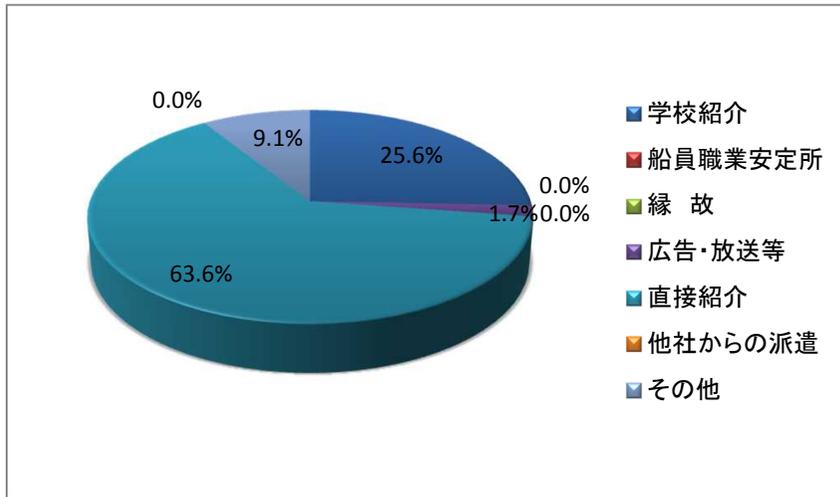


(漁船)

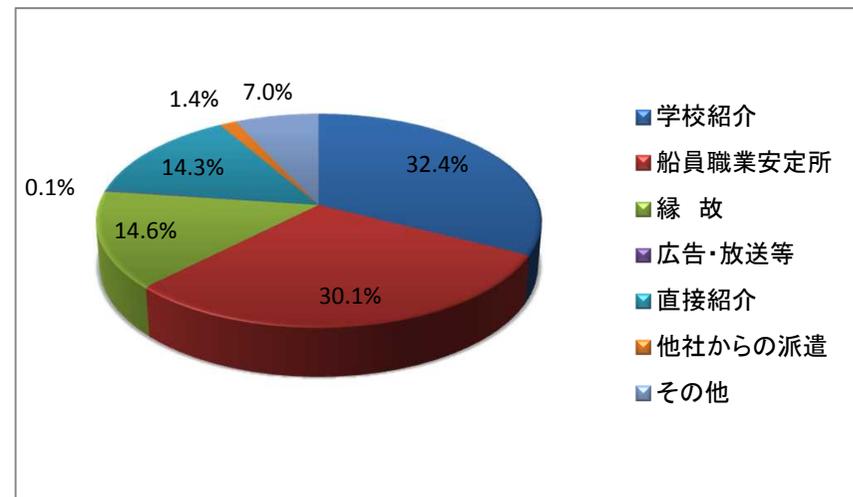


採用船員の入職経路(平成30年)

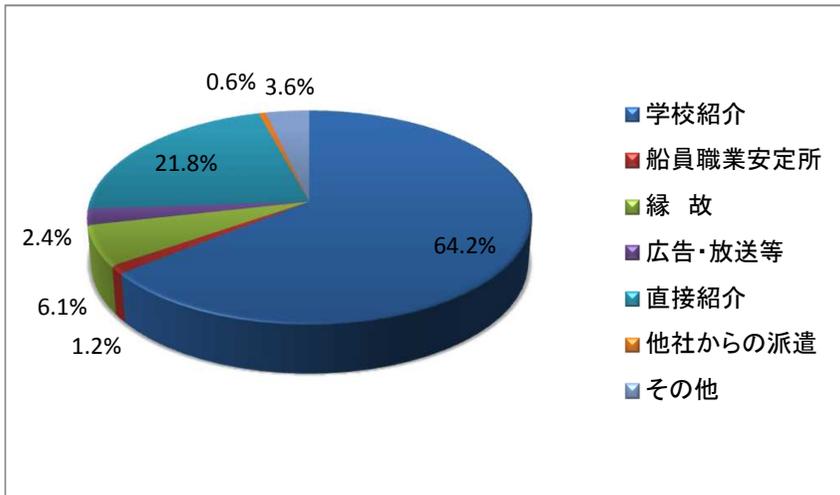
(外航)



(内航)



(旅客船)



(漁船)

